



川口市小学校

# 音楽鑑賞会

令和7年2月27日(木)・28日(金)

①10時40分開演 ②14時10分開演

さいたま市文化センター・大ホール

演奏/東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

指揮/松岡 究



## ♪プログラム♪

1. 「スターウォーズ」よりメインタイトル  
ジョン・ウィリアムズ 作曲
2. 交響曲第5番“運命”より第1楽章  
ベートーヴェン 作曲
3. 楽器の紹介とアンサンブル  
打楽器：「ドラムマーチ」  
木管楽器：「茶色の小瓶」  
金管楽器：「情熱大陸」  
ハープ：「星に願いを」  
打楽器：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
4. <指揮レクチャーコーナー>  
ハンガリー舞曲 第5番                      ブラームス 作曲
5. 剣の舞                                      ハチャトウリアン 作曲
6. 威風堂々                                      エルガー 作曲



## 映画「スターウォーズ」よりメイン・タイトル

ジョン・ウィリアムズ (1932-) 作曲

メイン・タイトルとは、このシリーズ全作品に使われているテーマ曲です。映画の中では、各シーンに応じて、勇壮であったり神秘的であったり、とさまざまな形で演奏されています。この音楽を担当したのが、映画音楽界の大作曲家であり、数年前までボストン・ポップスの指揮者として活躍したアメリカの作曲家ジョン・ウィリアムズです。ほかに「ジョーズ」「ジュラシック・パーク」「E.T.」「ハリリー・ポッター」などを作曲しています。

## 交響曲第5番「運命」より第1楽章

ベートーヴェン (1770-1827) 作曲

「運命」は1804年にドイツ人のベートーヴェンによって作曲されていますが、冒頭部分の「運命が扉を叩く音（タタタターン）」は1798年に完成されていたとされています。その頃、ベートーヴェンは耳が聞こえづらくなっていました。「運命が扉を叩く音」というのは、音楽家としての終わりが近づいてきた音だったのかもしれませんが。本日演奏する第1楽章は、「運命が扉を叩く音」から始まり、避けることのできない運命を表現しています。音楽家でありながら、耳が聞こえなくなるという悲しみと、それを乗り越えて作曲を続けた諦めない精神が私たちの心を打ちます。

## ハンガリー舞曲 第5番

ブラームス (1833-1897) 作曲

ドイツの作曲家ブラームスは、ハンガリーの音楽に影響を受けて21曲のハンガリー舞曲を作曲しましたが、その中でこの5番が一番有名です。元々はピアノの連弾のために書かれ、当時からとても人気がありました。最初は激しいテンポで始まり、途中で少し落ち着きますが、再び情熱的な部分へ戻ります。様々な演奏家が自由に表現して演奏します。テンポや強弱の変化に注目して聴いてみましょう。

## 剣の舞

ハチャトゥリアン (1903-1978) 作曲

アルメニア出身のハチャトゥリアンによって作曲された、とても有名な曲です。バレエのための音楽「ガイヌ」の中の一部として作られました。剣を振り回すかのような力強く激しいリズムと速いテンポが特徴的で、多くの人に親しまれています。シロフォン（木琴）やティンパニなどの打楽器が大活躍します。

## 威風堂々 第1番

エルガー (1857-1934) 作曲

イギリスの作曲家エルガーが作曲した行進曲で、1901年に作られました。最初の部分は金管楽器が堂々としたリズムで演奏し、途中で壮大で感動的なメロディが弦楽器で演奏されます。イギリスの王室や国の行事、卒業式などで使われることが多く、イギリスの第2の国歌としても愛されるとても有名な曲です。

## ◆東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団◆

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団（略称ユニフィル）は1973年に大田区を拠点として、青少年への芸術文化の普及を目指し日本新交響楽団として創立。1997年に「東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団」と改称、今年28周年を迎えた。定期演奏会、初夢ニューイヤーコンサート、0歳児からのふれあいコンサートなど、自主公演は112回を数える（2025/2現在）。名曲のより質の高い演奏でクラシック音楽愛好者の支持を得ている。2011年より常任指揮者に松岡究氏を迎え「歌心のあるオーケストラ」を掲げ、オペラ・合唱との共演被災地でのコンサート。文化庁助成新作オペラ「滝の白糸」を共催（2014年）。一方「未来からの使者たちへ」をテーマに青少年のための〈音楽鑑賞会〉を積極的に続けている。全国の教育委員会、校長会、音楽研究部会主催の鑑賞教室、高等学校から幼稚園まで演奏し、年間5万人以上の児童生徒に音楽による感動の輪を広げている。コロナ禍を乗り越え、音楽の喜びを伝え続けている。公益社団法人日本オーケストラ連盟会員。

## ◆指揮：松岡 究（まつおか はかる）◆

指揮を小林研一郎、ヨルマ・パヌラ、ランベルト・ガルデッリに師事。音楽学を戸口幸策に師事。1991年文化庁在外派遣研修員としてハンガリーに留学。その間スウェーデン・アルコンスト音楽祭にヨルマ・パヌラより招待されタリン国立歌劇場管を指揮。「卓越した才能」と激賞された。2004年～2007年にかけてローム・ミュージック・ファンデーションの音楽特別研究員としてベルリンにて研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者としてグノー「ロメオとジュリエット」等10以上のオペラの日本初演を指揮し、「極めてバランス感覚に富んだ逸材」「オケから耽美的な音色を引き出し抜群」等新聞各紙、音楽雑誌等で絶賛された。このほかにも日本ロッシェニ協会「ランスへの旅」（日本人初演）やブリテン「ねじの回転」（新国立劇場）などでも高い評価を得た。2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督。2009年東京ユニバーサル・フィル専任指揮者、2012年から常任指揮者に就任。また2023年4月から大阪府茨木市を本拠地とするアマビレフィルハーモニー管弦楽団（20015年創立）の音楽監督兼常任指揮者に就任。

